

## 令和5年度（横浜瀬谷高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不祥事防止会議、不祥事防止研修及び朝の職員打合せ等で、事故事例や通知を示しながら、職員一人一人が自分事として捉えられるよう意識の醸成を図った。</li> <li>・ ヒヤリハット事案の積極的な情報共有、また、互いに声掛けをし、特定の職員に困り感が偏らない職場環境づくりを目指してきた。その結果、全体として法令遵守の意識を持った行動をとることができた。</li> </ul>
わいせつ、ハラスメント行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ、ハラスメント行為の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒に対する相談・指導等における留意事項について、不祥事防止研修等で職員の意識を涵養することにより、生徒や職員同士の人権尊重の意識も高まり、目標を達成することができた。</li> </ul>
体罰、不適切指導の防止	職員一人一人が日頃より指導の目的を意識し、支援的視点を持ち、適切な方法で落ち着いた生徒に向き合えるよう取り組み、体罰・不適切指導を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用して職員の意識啓発と事故の未然防止に努めた。また、部活動指導に関する研修内容について、受講教員による伝達講習を実施した。結果、年間を通じて体罰や不適切な指導は認められなかった。</li> </ul>
入学者選抜の適正な実施	入学者選抜における不祥事防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入選業務に係る不祥事防止研修を複数回実施するなど、入学者選抜の実施に当たり、公正かつ厳正に行わなければならないという使命感を持ちながら、常に危機意識を全員で共有するよう努めてきた。結果、不適切な事案なく遂行することができた。</li> </ul>
成績処理及び進路関係書類作成・発行に係る事故防止	点検体制を再度確認し、定めたマニュアルに基づき業務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点検体制等に係る業務マニュアルを見直した。また、調査書・通知表等の作成や成績処理に係る事故事案について、職員に周知し、事故の未然防止に努めた。</li> </ul>
テストの適切な実施、管理の徹底化	テスト問題の作問ミスの防止、適切な実施、管理の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テストの作成については、作問ミスをなくすため各教科でのチェック体制を行った。</li> <li>・ テスト実施に係る業務マニュアルを見直し、不正行為なく適正に実施できるよう努めた。</li> <li>・ 誤廃棄防止のため、成績処理終了までシュレッダー使用を禁止した。</li> </ul>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の徹底	個人情報の適切な管理に努め、個人情報の流失を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テストに係る未返却物について、誤廃棄や紛失を防止するため一元管理を行う体制の充実を図った。また、啓発資料を活用した不祥事防止研修を行い、個人情報の取扱いについて徹底を図り、事故を防止することができた。</li> </ul>